

2025 年 6 月 10 日

各 位

会 社 名 小 田 急 電 鉄 株 式 会 社
代 表 者 名 取 締 役 社 長 鈴 木 滋
(コード番号 9007 東証プライム)
問 合 せ 先 執 行 役 員 I R 室 長 山 本 武 史
(TEL. 03 - 3349 - 2526)

「SOMPO サステナビリティ・インデックス」の構成銘柄に選定されました

当社は、SOMPO アセットマネジメント株式会社が設定する「SOMPO サステナビリティ・インデックス」の構成銘柄に選定されましたので、お知らせします。



Sompo Sustainability Index

■「SOMPO サステナビリティ・インデックス」とは

SOMPO リスクマネジメントが実施する「環境経営調査※1」と「ESG 経営調査※2」による ESG スコアを基に、SOMPO アセットマネジメントが株式価値評価を組み合わせ独自に作成するアクティブ・インデックスで、ESG 評価に優れる約 300 銘柄から構成されます。

■小田急グループの取り組み

当社グループは、経営理念を「お客さまの“かけがえのない時間（とき）”と“ゆたかな暮らし”の実現に貢献します。」と定めています。環境や社会の持続性に配慮しながら継続的な企業成長を目指す「サステナビリティ経営の推進」はその根幹を成すものです。経営計画体系において、経営ビジョン「UPDATE 小田急」の上位概念となる不変の考え方として「サステナビリティ経営の推進」を位置付けることで、6つのマテリアリティ（重要テーマ）を経営の中心に据え、社会課題の解決を通じた持続可能な成長を実現していきます。

マテリアリティ	
1. 安全・安心	・安全・安心を最優先した公共交通サービスの提供 ・誰もが安心して暮らせる社会の追求
2. まちづくり・地域社会	・職、住、商、学・遊、ウェルネスを兼ねそなえたまちづくりの実現 ・地域資源を活かしたまちの発展
3. 日々のくらしと観光体験	・テクノロジーを活用したゆたかなライフスタイルの推進 ・その地域ならではの観光体験の提供
4. 環境（カーボンニュートラル）	・省エネ、再エネ、電動化、地域との連携による脱炭素社会の実現 ・「Beyond Waste」を目指した資源循環社会の実現
5. 人的資本の強化	・すべての社員が自分らしく働ける企業風土の醸成 ・持続的な成長を実現するための価値創造型人材の育成・配置
6. ガバナンス	・すべてのステークホルダーの期待に応える最適なガバナンス体制の実現

(参考) 小田急グループのサステナビリティ <https://www.odakyu.jp/sustainability/>

※1 SOMPO リスクマネジメント株式会社が実施する環境経営への取組状況を評価するアンケート調査（サステナビリティ評価における環境面の評価）

※2 同社が実施するアンケート調査（サステナビリティ評価における社会面、ガバナンス面の評価）

以 上